

生協連の活動



近畿大学農学部の有路昌彦准教授を
迎えて行った食品表示セミナー

レストランのメニュー表示を調査

石川県生協連では、金沢市から委託を受け「かなざわ食品表示みはりたい」養成事業を行いました。公募のメンバー29名が景品表示法やメニュー表示、食材の流通などについて学んだ後、ホテルやデパートのレストランや飲食店を訪問。メニューの誤表示、偽装表示の報道後に再発防止や見直しがどのように行われたかを聞き取りました。これはお店とのコミュニケーションを通して情報を読み取り、適切な商品選択をするための消費者教育として実施したものです。

「みはりたい」メンバーが2人1組となり、金沢駅〜武蔵が辻〜香林坊周辺にあるホテルのレストランやデパート、ショッピンモール、飲食店、合わせて51店舗を訪問し、メニュー表示の調査を行いました。

報告交流会では、調査結果の報告の後「みはりたい」メンバーと事業者とで意見交換を行いました。メニュー表示については写真や絵文字(ピクトグラフ)などを多用した高齢者や外国人にもわかりやすい工夫や、定番メニュー(グラントメニュー)の他に

当日限定の手作りサブメニューや、問い合わせに応じて提示するアレルギー・カロリー・塩分表示の補助メニューを用意している事例などについて活発に意見交換しました。

また、メンバーからは、北陸新幹線開業に向けて地場産の食材を強化して魅力づくりをしてほしいとの要望も出されました。

災害ボランティア研修会を開催

●日程 2014年8月30日(土)
●場所 石川県地場産業振興センター
本館1F 第7研修室

NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク事務局長 李仁鉄(りじんてつ)氏を講師に迎え、災害救援の全体像、被災者に寄り添うニーズのキャッチや災害ボランティア活動拠点を中心とした連携の可能性について学習しました。

また、石川県社会福祉協議会専門員の茂尾亜紀氏から、社会福祉協議会の活動や役割についてお聞きしました。

災害ボランティア研修会に参加して

コーいしかわ 小松センター長 小間井 剛

このたび参加させていただいた災害ボランティア研修を通して、新たな発見や知識を得ることができました。

まずは、社会福祉協議会についてです。小松センターでもここ2年間、能美市社会福祉協議会が主催するボランティアフェスティバルに参加し、地域活動に関わらせていただきましたが、恥ずかしながら社会福祉協議会の活動や役割についてはよく知りませんでした。

しかし今回参加させていただいたこ



講師の李仁鉄氏

とで、社会福祉協議会の活動や災害ボランティアでの役割について知ることができ、共感することができました。今後より一層、社会福祉協議会の活動に関わっていきたくと思いました。

また、災害時の支援についての講義で「災害が起こった時に我々は何をするべきか」を学ぶ中で、目に見える被害にとらわれがちになり、支援の幅が狭くなる可能性があるため、我々の強みを活かした活動(特に傾聴活動による精神的支援)が大事であることを改めて感じました。

今回学んだことについてしっかりと振り返りを行い、災害が起こった際には学んだことを活かせるようにしたいと思います。

生協連の活動

2014ピース・デーを開催

●日程 2014年7月27日(日)
●場所 金沢市卯辰山玉兎ヶ丘
「平和の子ら像」前広場

今年のピース・デーは2009年7月に金沢で上演された「朗読劇・夏の雲は忘れない」から二部を石川県青年団協議会のメンバーと核戦争を防止する石川医師の会の小野栄子さんが群読し、その他構成団体から平和の取組みについての報告が行われました。

ピース・デーに参加して

コープいしかわ理事 齋藤 千絵

私たちは今、平穏な日々を過ごしている。ピース・デーに参加して、改めてこの事に気づかされました。

今から69年前に広島・長崎に原爆が投下され、一瞬にして全てが無となり、人々が傷つき命を落としました。群読で聴いた当時の生々しい様子、残された人の悲痛な叫び、心が痛くなりました。今も被爆者の方々は、被爆の苦しみを抱えたままです。

中学生の時の修学旅行で広島を訪れた際、語り部から当時の体験をお話しいただいた事があります。当時、

私と同じくらい年齢だった方の壮絶な体験談でした。語り部の生きた声を聞けるのは、今の若い人が最後の世代なのです。県原爆被災者友の会の2世部会が発足し、被爆者の体験を継承する活動を知り、次の世代に残す手段の一つとしてとても素晴らしいことだと思いました。本日、子どもと一緒に参加し、平和について話し合い、考える機会を得ました。被爆された方と同じ日本に生きているのに、知らない事がとても多いと感じました。子どもに伝えるには、まず事実を知ることから始めようと思います。

戦争や核兵器のない平和な世界になることを、心から願います。



「夏の雲は忘れない」群読の様子

役員研修会「経営分析の基礎」開催

●日程 2014年7月23日(水)
●場所 県地場産業振興センター本館3F 第3研修室

会員生協より29名が参加し「わかりやすい決算書の読み方」をテーマに公認会計士でもある、日本生協連会員支援本部職員の石川雅之氏を講師に迎え、日頃決算書を見慣れていない人でもわかる決算書の見方・分析方法について学びました。

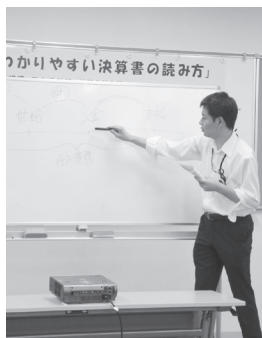
役員研修会に参加して

コープいしかわ理事 角田 主枝

数字が並んでいると見るポイントがわからず、苦手意識から目が泳ぐ私。「わかりやすい決算書の読み方」というタイトルに惹かれて受講した。「考え方を理解する」とメモをとる。馴染みのない用語も語彙的には理解し、頭の中で整理しながら聴く。数式が出てきた時には高校の数学の授業を思い出し、意識が遠のきそうになったが何とかつなぎとめる。コレはひょっとして、事業からのラブレターなのでは？

プロセスと結果が、言葉ではなく数値で記述され、評価できるスグレモノ。但し見る側にも読み取る力が必要なのだ。仕組みがわかると暗号みたいで面白そ

う。セミナー後半、グループ毎のワークショップでベテラン監事さんに手ほどきを受けながら、数値に頭れた背景を想像する。なるほど、そう読むのかと少しポイントが見えてくる。数字だけで、収益性・安全性・生産性が見てとれるなんてすごい!! 石川先生、並びに事務局の皆様、有意義な時間を有難うございました。



講師の石川雅之氏